

報告事項 5

神戸市教育史（第4集）編纂事業について

平成 30 年度刊行予定の神戸市教育史（第4集）編纂事業の進捗状況について、以下のとおり報告する。

平成 29 年 3 月 30 日提出

神戸市教育委員会
教育長 雪村新之助

「神戸市教育史(第四集)」編纂について

総合教育センター

1 既刊の教育史

	収録されている主な期間	発 刊
第一集	神戸港開港期～昭和 1 6 年	昭和 4 1 年 3 月
第二集	昭和 1 7 年～昭和 3 5 年	昭和 3 9 年 7 月
第三集	昭和 3 6 年～昭和 6 3 年	平成 5 年 3 月

2 現在編纂中の教育史

	収録する主な期間	発 刊
第四集	平成元年度～平成 2 5 年度	平成 3 0 年 (予定)

※ 資料①「神戸市教育史(第四集)全体構想」

3 進捗状況

(1) 刊行要項

資料②「刊行要項」

(2) 刊行スケジュール

資料③「刊行スケジュール」

(3) 刊行組織

資料④「神戸市教育史(第四集)刊行組織図」

「神戸市教育史(第四集)全体構想」(更新版)

平成 28 年 12 月現在

第一章 概説 **50ページ**

第一節 神戸市勢の概況

第二節 神戸の教育の平成の進展

第三節 阪神・淡路大震災からの教育復興と創造

第四節 新たな神戸の教育の創造

第五節 第1期神戸市教育振興基本計画の策定と推進

第一節 神戸の教育

- 一 教育の努力目標
 - ・教育の目標の変遷
 - ・「指導助言の重点」から「指導の重点」へ
- 二 神戸スタンダード
 - ・神戸市小・中・高等学校教育課程基準
 - ・特別支援学校教育課程編成基準
 - ・活用力アップ実践事例集
 - ・神戸ミニマム（国語・算数・英語）
- 三 指導要録等の改訂
 - ・指導要録
 - ・通知簿（あゆみ、通知表）

第二節 教育施策

- 一 幼児教育の振興
 - ・幼稚園教育の振興
 - ・四歳児全員就園
 - ・三年保育研究実施
 - ・子育て支援の充実
 - ・幼児教育の充実
 - ・幼保小の連携
 - ・幼児数の推移と対応（総務課）
- 二 学校教育の推進
 - ア 分かる授業の推進
 - イ 神戸らしい特色ある教育
 - (1) 防災教育
 - (2) 環境教育
 - (3) 伝統・文化に関する教育と地域学習
 - (4) キャリア教育
 - (5) 福祉教育
 - ウ 国際教育
 - エ 生徒指導
 - オ 人権教育
 - カ 道徳教育
 - キ 学校体育指導
 - ・体力向上
 - ・神戸市小学生陸上競技記録大会
 - ・神戸市小学校スポーツ協会

- ・神戸市少年団
- ・自然学校
- ・いきいきスポーツ・はつらつスポーツ
- ・国際交流
- ク 健康教育
- ケ 特別支援教育
 - 通級指導教室、こうべ学びの支援センター
 - 個別の指導計画、個別の教育支援計画
- コ 情報教育
- 三 大学連携
- 四 中学校給食
- 五 学校評価

第三節 教育活動

- 一 幼稚園
 - ・幼稚園経営
 - ・教育課程の編成
 - ・教育内容の充実
 - ・運動遊び研究会
 - ・統合保育
- 二 小学校
 - ・学校経営
 - ・教科指導
 - ・道徳教育
 - ・特別活動
 - ・人権教育
 - ・防災教育
 - ・生徒指導
 - ・特別支援教育
 - ・総合的な学習の時間
 - ・英語教育
 - ・神戸の特色ある教育
 - ・今日的な課題に対応した教育
 - ・課外活動
- 三 中学校
 - ・学校経営
 - ・教科指導
 - ・道徳教育
 - ・特別活動

- ・部活動
- ・人権教育
- ・防災教育
- ・生徒指導
- ・進路指導
- ・特別支援教育
- ・総合的な学習の時間
- ・神戸の特色ある教育
- ・今日的な課題に対応した教育
- ・夜間中学校

四 高等学校

- ・学校経営
- ・教科指導
- ・定時制教育
- ・特別活動
- ・部活動
- ・人権教育
- ・生徒指導
- ・進路指導
- ・特別支援教育
- ・総合学科・単位制

五 特別支援学校

- 視覚障害教育
- 聴覚障害教育
- 知的障害教育
- 肢体不自由教育
- 病弱・身体虚弱教育
- 訪問指導教育（肢体不自由・病弱）
- 自閉症・情緒障害教育
- 病弱・身体虚弱教育

六 高等専門学校

- ・神戸市立工業高等専門学校
- ・高等専門学校教育の充実

七 大学

- ・神戸市外国語大学
- ・神戸市看護大学
- ・時代の要請と大学
- ・市内大学・短期大学一覧

八 国立・県立学校(一覧)

九 私立学校

- ・私学教育の発展と充実

十 私立幼稚園(一覧)

十一 専修学校

十二 神戸市内外国人学校等(神戸市内外国人学校一覧)

(神戸市居住の外国人数一覧)

第四節 関連の深い教育機関及び施設

一 神戸市総合教育センター

- ・沿革
- ・事業内容

二 神出自然教育園

三 青少年補導センター

- ・青少年相談
- ・青少年補導
- ・適応指導教室(くすのき教室)
- ・少年関係機関団体との連絡調整

四 児童相談所

- ・児童養護施設等
- ・児童相談所(こども家庭センター)
- ・児童自立支援施設(若葉学園)

第三章 生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (120ページ)

第一節 生涯学習の概要

- 一 生涯学習と社会教育
- 二 生涯学習の発展
 - ・生涯学習に関する計画の策定
 - ・生涯学習支援・社会教育施策
- 三 家庭・地域・学校の連携
 - ・神戸っ子応援団事業
 - ・教育・地域連携センター
- 四 社会教育委員
 - ・社会教育委員の活動
 - ・社会教育委員一覧

第二節 市民の学習支援

- 一 市民の学習支援
 - ・生涯学習支援センター（コミスタこうべ）
 - ・公民館

 - ・あじさい市民大学
 - ・老眼大学
 - ・高齢者学習センター
 - ・シルバーカレッジ

第三節 P T A（育友会）と家庭教育

- 一 P T A活動
 - ・神戸市P T A協議会
 - ・校種別P T A連合会
 - ・教育委員会との連携
- 二 家庭教育支援
 - ・家庭教育の啓発
(家族が熱い一週間、もうすぐ一年生)
 - ・P T A家庭教育アカデミー

第四節 女性の学習活動

- 一 婦人団体の活動
 - ・婦人団体の活動
 - ・神戸市立婦人会館
- 二 男女共同参画の啓発・教育の推進
 - ・男女共同参画計画
(家庭教育、学校教育、社会教育)

- ・男女共同参画センター（あすてっぷKOBÉ）
- ・神戸婦人大学

第五節 青少年の育成

- 一 青少年の育成
 - ・青少年施策の変遷
- 二 神戸市青少年育成協議会
- 三 神戸市青少年団体連絡協議会
- 四 青少年活動施設
 - ・会館施設等
 - ・野外活動施設
- 五 放課後児童対策
 - ・学童保育（放課後児童クラブ）
 - ・神戸っ子のびのびひろば（放課後子供教室）

第六節 人権教育・啓発

- 一 人権課題
 - ・同和問題（長期計画～最終答申）
 - ・人権課題の多様化
- 二 市民啓発
 - ・視聴覚教材
 - ・公民館（講演会・識字教室・識字交流会）
 - ・国際理解（日本語学習支援者養成・市民講座）

第七節 市民スポーツ

- 一 市民スポーツの振興
 - ・神戸アスリートタウン構想
 - ・神戸総合型地域スポーツクラブ
 - ・トップアスリートと連携したスポーツの振興
- 二 大規模スポーツ大会
 - ・FIFAワールドカップ2002
 - ・のじぎく兵庫国体
 - ・アジア陸上競技選手権
 - ・神戸マラソン
- 三 スポーツ施設

第八節 文化活動・文化財

- 一 文化活動の推進
 - 文化施策の充実

ア 市民文化(生活文化、芸術文化)の振興

イ 文化施設の整備・充実

ウ 「音楽のまち」の定着へ

震災と文化政策

文化創生都市の推進

芸術文化の薫りあふれるまちづくり

文化施設等

二 文化財の保護

・埋蔵文化財センター

・阪神・淡路大震災と文化財

災害復旧修理事業

復興埋蔵文化財発掘調査と全国支援

・「神戸市文化財保護条例」制定

・保存から活用へ

第九節 博物館等施設

一 市立博物館

二 美術館

・小磯記念美術館

・神戸ゆかりの美術館

三 青少年科学館

四 その他の施設

第十節 読書活動

一 図書館

・図書館サービスの拡充（ネットワーク化等）

・中央図書館

・地域図書館

二 子供読書活動推進のための施策

・子供読書活動推進計画

・子供読書活動の推進施策

ブックスタート的事業

学校園

市立図書館

児童館等

・子供の読書活動に関わるボランティアとの協働

・学校図書館の活性化

第十一節 学校施設開放事業

一 学校施設開放事業の発展

- ・学校施設開放事業の充実
- ・学校施設の開放状況
- ・学校週5日制と学校施設開放
(マナビィひろば事業、地域スポーツクラブ)
- 二 学校施設開放事業の運営
 - ・組織と運営
 - ・学校施設開放の形態
- 三 新しい学校施設開放へ
 - ・学校施設開放事業の課題
 - ・新しい学校施設開放のしくみ

第十二節 生涯学習関連施設

(一覧)

- 一 社会教育施設
 - ・生涯学習支援センター・公民館
 - ・図書館
 - ・博物館（相当施設・類似施設含む）
 - ・女性教育施設
 - ・文化ホール・区民センター・勤労市民センター
 - ・集会施設
 - ・青少年教育施設
 - ・その他社会教育施設
- 二 文化財施設
 - ・風見鶏の館
 - ・ラインの館
 - ・内田家住宅
 - ・五色塚古墳、小壺古墳

第四章 教育行財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（80ページ）

第一節 教育行財政の概要

第二節 教育委員会

- 一 教育委員会の構成とあゆみ
 - ・教育行政の重点
 - ・教育委員会の構成と運営
- 二 教育委員会事務局組織の拡充
 - ・事務局組織の変遷
 - ・指導主事
- 三 公益財団法人神戸市スポーツ教育協会
 - ・財団法人神戸市スポーツ教育公社
 - ・財団法人神戸市体育協会
 - ・公益財団法人神戸市スポーツ教育協会

第三節 教育財政

- 一 教育財政の推移
 - ・平成初期の神戸市の教育財政
 - ・財政再建期の神戸市の教育財政
 阪神淡路大震災
 - ・震災以降の行財政改革の取組み
- 二 保護者負担の軽減
 - ・学校標準運営費の改訂
 - ・高等学校・高等専門学校の授業料無償化
 - ・就園奨励・助成
- 三 就学条件の整備
 - ・奨学金制度
 - ・就学援助（定時制高校・夜間中学校生徒への就学奨励も含む）
 - ・特別支援学校・特別支援学級児童生徒への就学奨励

第四節 学校教育施設

- 一 基本方針
 - ・「神戸市立学校園のあり方懇話会」について
- 二 幼稚園の再編・統合
 - ・幼稚園のあり方の検討
 - ・再編・統合
- 三 小・中学校の再編・統合
 - ・小・中学校のあり方の検討
 - ・中央区 小・中学校の再編・統合

- ・兵庫区 小・中学校の再編・統合
- ・長田区 小・中学校の再編・統合
- ・須磨区 小学校の再編・統合
- ・垂水区 小学校の再編・統合
- 四 高等学校の再編・統合・改築
 - ・高校のあり方検討会
 - ・再編・統合・改築
 - ・施設・設備の充実
- 五 特別支援学校等の整備
 - ・震災時の状況及び耐震化、過密化の対策
 - ・校区の再編
 - ・施設・設備の充実
- 六 小・中学校の新設
 - ・過密化校の解消のための新設
 - ・宅地開発に伴う新設
 - ・新設校一覧
 - ・校区調整審議会
- 七 幼稚園、小・中学校の新築・改築
 - ・校舎の老朽化
 - ・改築事業
- 八 阪神・淡路大震災と学校園の復旧
 - ・学校園の被害状況
 - ・震災復旧工事の実施
- 九 施設の整備・充実
 - ・学校施設整備指針
 - ・施設の整備、改修
 - ・学校園の安全対策
 - ・学校園の耐震化
 - ・アスベスト対策
 - ・学校施設の環境整備
 - ・多目的スペース
 - ・体育館・プール・武道室・部室等
 - ・省エネに向けた取組
 - ・学校緑化
 - ・遊具
 - ・設備、備品の充実

第五節 学校における事務改善

- 一 事務改善のあゆみ
 - ・学校会計事務の改善

- ・OA化のあゆみ
- ・情報セキュリティ関連規定の整備
- ・神戸市情報公開条例及び個人情報保護条例の運用

第五章 教職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (50ページ)

第一節 教職員の概要

第二節 教員の採用と研修

一 教員の採用

- ・教員採用数の推移
- ・第一期（少子化の流れ）
- ・第二期（国籍条項の撤廃）
- ・第三期（急激な世代交代と再任用）

二 教員の研修

- ・研修の基本方針
- ・基本研修
- ・専門研修
- ・職務研修
- ・自己啓発研修
- ・その他の研修
- ・教職員等中央研修講座
- ・海外派遣研修
- ・国内研修
- ・内地留学制度

第三節 教員の勤務と待遇

一 教員の勤務

- ・産休・育休制度、介護休暇制度、休職等
- ・勤務時間
- ・勤務時間の割振り変更について
- ・多忙化対策

二 教員の待遇

- ・給与
- ・退職手当
- ・年金
- ・福利厚生

第四節 教員の定数と資質、異動

一 教員の定数

- ・定数改善

- ・教員加配
- ・主幹教諭制度
- 二 教員の資質
 - ・評価制度
 - ・教員免許更新
 - ・指導力向上
 - ・教育実践等功労者表彰
 - ・懲戒処分
- 三 教員の異動
 - ・異動方針
 - ・異動の特色
 - ・異動の状況
- 四 教員の海外派遣

第五節 管理職選考制度

- 一 管理職選考制度
- 二 任命主任制度
- 三 主幹教諭制度

第六節 教員構成

- 一 年齢構成の推移
- 二 男女構成の推移

第七節 栄養教諭、学校司書教諭、学校事務・技術職員

- 一 栄養教諭（職員）
- 二 学校司書教諭
- 三 学校事務職員
- 四 技術職員

第八節 県費負担教職員にかかる給与負担等の権限移譲

第六章 学校教育関係諸団体 (100ページ)

第一節 学校教育関係諸団体の概要

第二節 校園長会

- 一 神戸市立幼稚園長会

- ・活動の概要
- ・歴代会長・副会長
- 二 神戸市小学校長会
 - ・活動の概要
 - ・歴代会長・副会長
- 三 神戸市立中学校長会
 - ・活動の概要
 - ・歴代会長・副会長
- 四 神戸市立高等学校長会
 - ・活動の概要
 - ・歴代会長・副会長
- 五 神戸市立盲・養護学校長会
 - ・活動の概要
 - ・歴代会長・副会長

第三節 神戸市女性管理職の会

- ・沿革
- ・活動
- ・神戸市の女性管理職の推移

第四節 高等学校事務長会

- ・沿革
- ・活動

第五節 教頭会・幼稚園主任会

- 一 神戸市立小学校教頭会
 - ・沿革
 - ・活動
- 二 神戸市立中学校教頭会
 - ・沿革
 - ・活動
- 三 神戸市立高等学校教頭会
 - ・沿革
 - ・活動
- 四 神戸市立盲・養護学校教頭会
 - ・沿革
 - ・活動
- 五 神戸市立幼稚園主任会
 - ・沿革

- ・活動

第六節 教育研究団体

- 一 各校種教育研究会
 - ・幼稚園教育研究会
 - ・小学校教育研究会
 - ・中学校教育研究会
 - ・高等学校教育研究会
 - ・盲・養護学校教育研究会

- 二 その他の研究団体
 - ・神戸市人権教育研究協議会
 - ・区域別人権教育推進協議会
 - ・神戸市特別支援教育研究協議会
 - ・神戸市特別支援教育校園長協議会
 - ・神戸市立中学校生徒指導研究協議会
 - ・神戸市学校保健主事会
 - ・神戸市養護教諭研究会
 - ・神戸市立学校事務研究会
 - ・神戸市栄養教諭・学校栄養職員研究会

第七節 職員団体

- 一 神戸市教職員組合
- 二 全教神戸市教職員組合
- 三 神戸市自立教育労働者組合
- 四 神戸市立高等学校教職員組合
- 五 神戸市高等学校教職員組合
- 六 神戸市職員労働組合教育支部
- 七 神戸市従業員労働組合教育支部

付 録

学校園沿革史、神戸市教育史関係年表、その他の資料

神戸市教育史（第四集）刊行要項

1. 目的

神戸市教育史第一、第二集は、教育委員会発足15周年記念事業として刊行された。第一集は明治初期から昭和16年までを対象とし昭和41年に、第二集は昭和17年から昭和35年までを対象とし昭和39年にそれぞれ刊行された。

また、第三集は昭和36年から昭和63年までを対象とし平成5年に刊行された。本市教育の推移と発展について記述され、本市の教育を歴史的に考察する貴重な資料となっている。

このたび、平成元年から平成25年までを対象の主体とする「本史(第四集)」を編纂することにより、第一集、第二集、第三集と併せて明治以降現在までの本市教育のあゆみを考察することができるようにし、今後の本市教育の一層の充実・発展に資することを目的とする。

2. 基本方針

- (1) 教育関係者や市民、子供が郷土神戸の教育の歴史を学び、「教育日本一のまち神戸」を目指す今後の本市教育を展望する基礎的資料とする。
- (2) 第三集を引き継ぐものとして、平成元年から平成25年までを対象の主体とする。「平成教育の発展と見直し」という観点で全体を括るが、編集上、「阪神・淡路大震災」「アクティブプラン」は大きな変革の起点として区分する。
- (3) 神戸市域の事象を主とするが、必要により本市周辺の地域に及ぶものとする。
- (4) 学校教育だけでなく社会教育、教育行財政など、神戸市教育の全般にわたるものとする。
- (5) 国、県の動向を背景として、全般的な視野の中で神戸市教育の大きな流れや特色を浮彫りにしたものとする。
- (6) 特定の立場に偏ることなく、確かな資料に基づき、事実を正確に記述しながら、この時期の特色を浮かび上がらせる。
- (7) 記述は平易にし、図表や写真、関係者の談話や作品などを多くして、読みやすく親しみやすいものとする。

3. 編集の内容

- (1) 類別（11類別に分けて編集する）

ア. 概説	1 類別
イ. 学校教育	6 類別
神戸の教育の目標、教育施策の推進、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、高等教育等の6類別とする。	
ウ. 生涯学習	1 類別
エ. 教育行財政	1 類別
オ. 教職員	1 類別
カ. 学校教育関係諸団体	1 類別
※ その他	各学校園沿革史、年表、索引等
- (2) 体裁

A5判	
本論	約1000頁
付表(各学校園沿革史、年表等)	約300頁 + CD
- (3) 刊行部数

1200冊

4. 資料の収集

- (1) 年度別に、国、本市の主なできごとを調べる。
- (2) 国の教育関係の法律、政令、規則、告示、通達および神戸市（兵庫県）からの通達指示等を調べる。
- (3) 全市公私立学校園の沿革史を調べる。また、各校園発行の記念誌等を集める。
- (4) 神戸市または兵庫県から発行された教育関係の雑誌、パンフレット等を集める。
- (5) 神戸市（兵庫県）の教育統計、教育予算に関する資料を集める。
- (6) 市教委事務局各課の年度ごとの事業等に関する資料を集める。
- (7) 教育関係者から口述記録や資料を集める。

- (8) 次の資料等を集める。
 - ア. 各校種教育研究会、教育団体（校園長会、教頭会、教職員組合等）PTA（育友会）関係等の刊行物。
 - イ. 社会教育関係資料、各課からの刊行物、資料、手引等。
 - ウ. 作文集など児童生徒の活動のあとがたどれる刊行物等。
- (9) 他府県市の教育史を調べる。
- (10) その他。

5. 刊行組織

神戸市教育史第四集刊行にあたって、刊行委員会、刊行事務局、編集委員会、編集小委員会、協力委員、調査・執筆担当者をもって刊行組織とする。

(1) 刊行委員会

- ・刊行委員会は委員長（教育長）、委員20名（学識経験者5名、教育次長、担当局長、中央図書館長、総務部長、指導部長、社会教育部長、各担当部長、博物館副館長兼事務局長、高専担当部長、スポーツ教育協会常務理事、総合教育センター所長）をもって構成する。
- ・刊行委員会は刊行組織、企画、全体構想の決定ならびに完成原稿の承認、その他刊行に関する一切の承認事務を行う。

(2) 刊行事務局

- ・刊行事務局は事務局長（総合教育センター所長）、副所長、首席指導主事、教育史編纂室長、教育史編纂室主任専門員、研修室長、教育相談指導室長、学級経営・授業づくり支援室長、学識経験者をもって構成する。
- ・刊行事務局は刊行企画案の作成、全体構想素案の作成、資料収集並びに資料収集に関する事務、各委員会の連絡・運営に関する事務および記録、その他刊行に関する一切の事務を行う。

(3) 編集委員会

- ・編集委員会（以下「委員会」という）は、委員長（指導部長）、学校園長会代表5名、教育委員会各課代表（課長）（総務課、教職員課、学校計画課、学校整備課、指導課、特別支援教育課、健康教育課、人権教育課、生涯学習課、文化財課、スポーツ体育課、中央図書館、博物館、高専、スポーツ教育協会）、編集小委員会代表、事務局長をもって構成する。
- ・委員会は刊行企画案検討・作成、全体構想案検討・刊行委員会への提案、編集小委員会委員の決定、編集完了の確認、その他編集に関する一切の事項を担当する。

(4) 編集小委員会

- ・編集小委員会（以下「小委員会」という）は委員長（総合教育センター首席指導主事）、副委員長2名（小委員会内において互選）、委員（各校園長会、各課代表[係長]、中央図書館、博物館、高専、スポーツ教育協会）、特別委員若干名（委員会が必要と認めるもの）、事務局をもって構成する。
- ・小委員会は全体構想案の作成、類別相互間の連絡・調整、類別内の調整と取りまとめ、推敲・補筆・訂正・リライト・編集、校正等を行う。

(5) 協力委員

- ・委員は行政関係者、学校園長会長、高等学校事務長会長、各校種各研究部長をもって構成する。
- ・委員は委員会、小委員会、調査・執筆担当者の選出に協力するとともに、調査・執筆担当者の資料収集や執筆活動が円滑に進むよう協力する。
- ・資料提供に協力する。

(6) 調査・執筆担当者

- ・各類別代表を中心に調査・執筆担当者打合会を必要に応じて開催する。
- ・担当者は事務局と協力して必要な資料を収集すると同時に分担した事項について調査・執筆する。
- ・担当者は類別代表と連絡を密にし、基本方針に沿った執筆が行われるよう努力する。なお、担当者は他の調査執筆担当者と連絡を密にし、記述内容に重複や不整合のないよう留意する。

附則1 平成26年5月16日 決定

附則2 平成27年4月 1日 改訂

＜刊行スケジュール＞

平成28年12月現在

年度	月	発刊までの流れ	刊行委員会	編集委員会	編集小委員会
25年度		刊行事務局設置			
平成26年度	4月	刊行委員懇話会1(学識経験者からの意見聴取)4/14			
	5月		第1回(5/16) ・刊行組織 ・刊行計画 ・編集基本方針		
	6月			第1回(6/30) ・目次構成案 ・編集小委員会委員	
	7月				第1回(7/29) ・目次構成案 ・目次項目案(各章項目案)の作成 ・資料収集について
	10月	資料収集リスト提出 目次項目案提出			
平成27年度	12月	資料整理 目次項目調整案			
	3月	刊行委員懇話会2(学識経験者からの意見聴取)3/13		第2回(3/23) ・目次構成案 ・目次項目案(各章項目案)の作成 ・資料収集状況の報告	
	4月	神戸市教育史編纂室設置		第3回(5/28) ・全体構想案 ・調査・執筆要領、表記要領	
	5月				第2回(6/26) ・全体構想についての意見交換 ・検討・修正 ・執筆について ・調査・執筆者の確認
平成28年度	6月				
	7月		第2回(7/13) ・刊行要項 ・全体構想 等の微調整及び確認 ・調査・執筆の開始		
	11月				第3回 ・各類別代表を中心とした調査・執筆担当者打合せについて ・編集委員による調査・執筆進捗状況の確認
	5月			第4回(5/23予定) ・進捗状況確認 ・今年度の予定検討	
	6月		必要に応じて刊行委員懇話会開	調査・執筆進捗状況の確認	調査・執筆担当者打合せ会 調査・執筆担当者打合せ会
平成29年度	8月	第2章及び第6章の一次原稿提出			
	10月	第3・4・5章の一次原稿提出		提出された「一次原稿」の調整 ・資料的な確認、追加資料の収集など ・記述内容の追加・削減・修正など ・ページ合わせ 校正・編集・増減など	
	2月	一次原稿の取りまとめ			
	4月	新年度委員名簿作成 一次原稿の推敲	委員委嘱(幹部会にて配付)	第3回 ・進捗状況確認等	第5回 ・進捗状況確認 ・今年度予定の検討・確認
平成30年度	5月	内容の資(史)料的価値の確認 推敲	必要に応じて刊行委員懇話会開	外部有識者の意見聴取	執筆担当者による一次原稿の修正・調整
	8月	「成稿」の取りまとめ			
	10月	校正・念校 見積り合せ、業者決定			
平成30年度	3月	原稿完成			
		校了 印刷発注 校正 印刷・製本 刊行 関係機関への配付	最終回 ・原稿完成の確認 ・印刷発注の確認	最終回 ・原稿完成の確認	
			校 正		
			神戸市教育史(第四集)発刊		

神戸市教育史(第四集)刊行組織図

平成28年度

